

ドイツで四年間修行し、食肉加工のドイツ国家認定を取得した峠館泰之さん(27)＝奥中山西田子＝。資源豊かな地元の食材を使用し、ハム・ソーセージを生産する地産地消の若き担い手だ。(8ページに関連)

## 豊かな風土を食材へ

いちのへ、いいもの、いただきます

Special edition  
特集：地産地消



## いちのへ 地産地笑 For Smile

国と国、心と心を  
つなぎ節目の十年  
町国際交流協会  
設立十周年記念式典を挙行

## ここは第2のふるさと、 地域と国超え、あふれる笑顔

▲会では全員で「ふるさと」と「四季の歌」を歌いました。歌う下田和夫会長とマイクを持つ歌唱指導の坂下智子監事。

一戸町国際交流協会の設立十周年記念式典が七月五日にコミュニティセンターで行われ、関係者たち約百三十人が節目の年を祝いました。同協会は、諸外国と交流を進める団体への支援活動や国際協力の意識、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的としています。式典で下田和夫会長は、これまでの活動を振り返り「皆さんのご理解とご指導、そして温かいご支援のもとに未来につながる大きな会になりました」と決意を新たにしました。続いて駒木二郎前会長に協会から感謝状が贈呈され、祝賀会では中国やベトナムの研修生たちが歌などを披露し、楽しい時間を過ごしました。参加した夏井敏明・ヴァン夫妻は「協会が縁で結婚しました。生活習慣は異なるけれど、お互いを知る良いきっかけになります」とお子さんを抱き、笑顔で話してくれました。



④祝賀会でみんなで乾杯、町婦人団体力づくりサークルの皆さんもお祝いに駆け付けました  
⑤祝賀会では、中国へ帰国する研修生から、一戸の皆さんへ感謝の言葉が送られました

▶お話を聞いた夏井敏明・ヴァン夫妻  
愛息子の芳樹くん



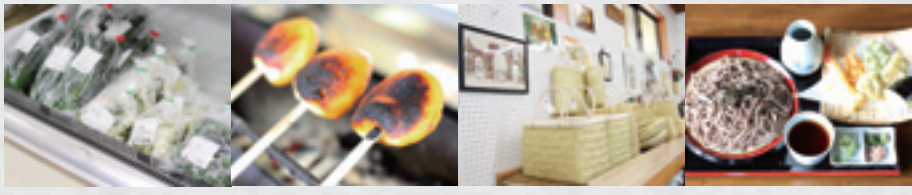
### 編集後記

地産地消に取り組む方に取材させていただき、どんなに素晴らしい、農業が、地域がより良いものになるかを熱心に考え、熱意が伝わってきました。豊かな環境は豊かな人材があつてこそと再認識しました。▼その中で、表紙にも登場していただいた峠館泰之さん。10ページのサマースクールの昼食づくりや一戸中学校の総合学習の講師として、その経験を伝えたりと今月はお会いする機会が多くありました。▼「家も農家で、本当に厳しいけれど、地域でまともな暮らし、若い人も価値を見出せる農業につなげたい。その地域の食材で作り上げたソーセージだから、まず町の人に食べてもらいたい」と工場をひとりと、黙々とソーセージを作る泰之さん。豊かな経験と確かな技術、実直な人柄を感じました。

総務課庶務係 久保田太一



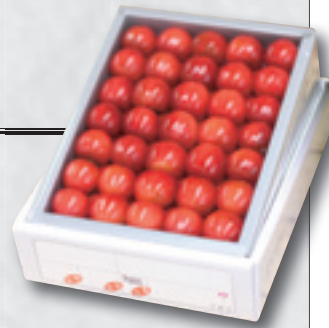
# 地産



特集 *Special edition*

いちのへ、いいもの

## いただきます



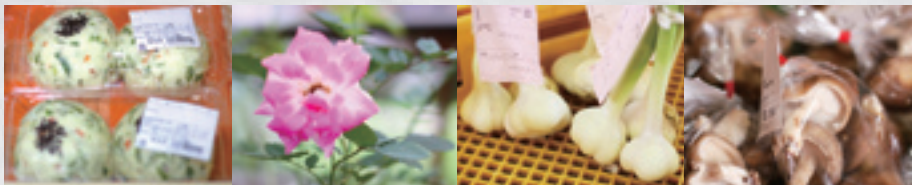
「地産地消」って何でしょう。その意味は「地元でとれたものを地元で食べること」でも、それだけではありません。地産地消の営みがわたしたちに与えてくれるものを想像してみてください。四季折々の新鮮な食材が手に入る、食料をつくる人と食べる人の顔が見える関係、安全・安心で健康的な食や暮らし……。きつと、まだまだ見つかるはずです。特集「いちのへ、いいもの、いただきます」。豊かな自然と人の情熱あふれる一戸町。まちの皆さんと地産地消の可能性と未来を探ります。



「顔と顔が見え、話をする」関係で結びつきが強まる産直施設（イコオ産直センター）



# 地消



## 衆議院議員総選挙投票日

# 8月30日（日）

### 投票時間は午前7時から午後6時まで

■期日前・不在者投票は、  
衆議院議員総選挙・小選挙区、比例代表 8月19日～29日  
最高裁判所裁判官国民審査 8月23日～29日

◎時間 午前8時30分から午後8時まで

◎場所 役場1階会議室



投票所名	施設などの名称
第1投票所	萬代館
第2投票所	一戸町役場
第3投票所	一戸南小学校
第4投票所	女鹿館自治公民館
第5投票所	中女鹿地区自治公民館
第6投票所	小友ふれあいセンター
第7投票所	鳥海地区介護予防拠点施設
第8投票所	月館自治公民館
第9投票所	岩清水集会所
第10投票所	出ル町つどいセンター
第11投票所	上小友自治公民館
第12投票所	楢山へき地保育所
第13投票所	双畑多目的集会施設
第14投票所	来田地区世代交流センター
第15投票所	八木沢自治公民館
第16投票所	鳥越小学校
第17投票所	根反自治公民館
第18投票所	小鳥谷地区公民館
第19投票所	サラダボウル・こずや
第20投票所	小繋多目的集会施設
第21投票所	小繋児童館
第22投票所	奥中山農業団地センター
第23投票所	奥中山高原軽井沢プラザ
第24投票所	摺糠自治公民館
第25投票所	宇別へき地保育所
第26投票所	平糠保健福祉館
第27投票所	姉帯地区多目的集会施設
第28投票所	面岸保健福祉館

### 【第1投票所が変更になります】

第1投票所が「萬代館」に変更になります（これまでは高齢者創作館）。

車でお越しの方は、一戸まつりの交通規制のため、県道を通行できない時間帯（14：00～16：00）がありますので、ご注意ください。駐車場は、旧一戸小学校跡地をご利用ください。

### 【投票時間は午後6時まで】

投票所で投票できる時間は、午前7時から午後6時までです。忘れずに投票しましょう。

国政選挙では、岩手県内で特に県北地区の投票率が低い傾向にあります。平成17年に行われた前回の衆議院議員総選挙では、一戸町の投票率は約66%（小選挙区）でした。

選挙は、有権者の意思を表す大切な制度です。棄権せずに投票しましょう。

### 【郵便での不在者投票】

「郵便での不在者投票」とは、身体に障がいなどがあるため、投票所での投票が困難な方のための制度です。

この制度は身体障害者手帳、戦傷病者手帳、介護保険で「介護度5」の認定を受けている方が対象ですが、障害等級などにもよりますので、詳しくは選挙管理委員会までお問い合わせください。

また、身体的障がいにより、自分で投票の記載ができない方には、代理の人に記載してもらえる制度もあります。

詳しくは選挙管理委員会 ☎ 33-2111（内線580）へお問い合わせください。

つくろうよ 明るい未来を 一票で

（H19 明るい選挙標語コンクール最優秀賞 盛岡市 古館葵さんの作品）



## 産直紹介

part 1

まずは、まちの産直へ  
新鮮な食材と笑顔があふれます。

産直といえば、新鮮でおいしい食材。でも、それだけではないんです。加工品や工芸品など魅力的な商品がいっぱい。さあ、出掛けてみましょう。



広報いちのへ

■奥中山の豊かな実りが一堂に  
チャレンジ精神が息づく産直

## 産直 奥中山高原

昨年、五月にオープンした「産直 奥中山高原」。奥中山の高原野菜、奥中山高原農協乳業(株)の乳製品、カナン(株)のパン、さらには精肉と豊かな奥中山の食材をお客さんに提供していることが大きな特長です。

「奥中山の特長は出ている反面、大規模な専業農家が多いため、それらの出荷に追われ、種類を増やすことができないのが現状。今後は、品数を増やしたり、加工品をみんなで勉強していきたいと考えています」と話す大沼久司代表。

朝取りの新鮮な野菜が店頭に並び、町内外からたくさんの方が訪れます。



大沼久司組合長  
菌床しいたけと野菜全般を少しずつ手がけます。化学肥料などを抑えた安全安心な野菜を心掛けます。



④新鮮食材でいっぱいです⑤好調なパン⑥自然豊かな立地

■品名 高原野菜(レタス・キャベツなど)・パン・乳製品・肉類など  
■営業時間 9:00～18:00 ■組合員数 32  
■休み 1月1日～3日  
■中山字大塚 247-4 Tel & Fax 35-3335

▼新鮮野菜でいっぱいの店内は組合員さんもお客さんも元気があふれています ▼ピンクののぼりが目印です



■品名 野菜・キノコ・米・花苗・切り花・手芸品・山菜・果物・漬物など  
■営業時間 5～10月 平日9:00～13:00 土日9:00～16:00  
11月 土日9:00～13:00 12～4月 土9:00～13:00  
■休み 8月13日～16日、12月30日～1月10日 ■組合員数 32  
※11月は土・日曜、12～4月は土曜に営業  
■中山字大塚 82-2 Tel & Fax 35-3140

朝、取り立ての野菜を店にそろえ、「もつとほしい」というお客さんには、畑に行つて取ってくる「新鮮組」。その名とおり、新鮮

なものをみんなで出すことにこだわる産直です。

国道4号沿いに位置し、町外や県外からお客さんが訪れます。中にはラジオで「新鮮組」のことを聞いて来るお客さんも。

野菜は、ほとんどが百円、みんなでなるべく値上げしないで、新鮮なものを提供できるように努めています。

楓館正子代表は「店は、にぎやかでお客さんもわたしたちも元氣になれます。みんなで話し合い、品数を増やしながら、自分たちの良さを伸ばしていきたいと思ひます。ピンクののぼりを目印にぜひ、いらしてください」と元氣に話します。



楓館正子代表  
8月はトウモロコシの最盛期、自信を持っておすすめします。冬のふるさとギフトもご利用ください。

## ■地域のお宝が勢ぞろい

町内産の手打ちそばも好評

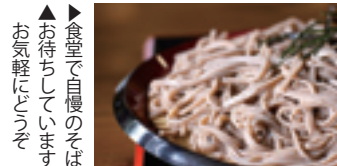
## 産直 里やま市場

一步、店内に踏み入れると地域の農産物のほか、かごや焼物など、地域の手芸品や工芸品がいっぱい。町内産だけにこだわらず、軽米町や三戸町など、広く地域のお宝を紹介するのが「産直 里やま市場」。季節には手ごろでおいしい山菜やきのこがずらりと並びます。

「地域が少しでも元氣になれば」と澤口勝司代表。障がいを持つ方の手づくり品も見られます。

食堂では町内産そば粉100%の手打ちそばが好評。遠方からそばを目当てに来るお客さんも多いそう。テーブルにはサービスの漬物や野菜がたくさん出ています。

澤口代表は「地域の宝を紹介し、年配の方がさらに自由に利用しやすい施設にし、交流の場としても役立ちたい」と意気込みます。



▲品名 手打ちそば・串もち・田楽・手芸品など ■生産者数 110  
■営業時間 9:30～18:00  
■休み 1月1日～3日  
■小繋字東田子 2-2 Tel 34-5155



▲店内には農産物の他に食堂、民芸品や工芸品もあり、お宝に巡りあえるかも



澤口順子さん  
串もちとこの田楽も好評です。「このそばがおいしい」というお客さんの言葉が励みになります。

■山野草愛好家が県内外から  
小さな産直に広がるつながり

## 産直 山野花菜



▲かれんさが魅力の山野草

山野草を中心にした花々や季節の山菜やキノコ、地元産の野菜を提供する「山野花菜」。佐藤誠一さん、セイ子さん夫婦が三十年ほど手がけている山野草を、平成十七年に小さな無人店舗で販売を始めたのが開店のきっかけです。開店以来、愛好家の間で評判が広がり、佐藤さんの勧めで愛好家も出品するなど、今や町内外、そして県外からも多くの人が集う場所になりました。

「山野草は、経験と知識が必要で、生き物と同じように手間をかけて育てます。山野草は扱っていて楽しいし、愛好家には気持ち



▲山野草の愛好家から根強い人気がある山野花菜。近くに小川が流れ、せせらぎが聞こえる

の良い方が多いと感じます」と誠一さん。

■品名 山野草・山菜・キノコ・野菜など  
■営業時間 9:00～18:00  
■休み 月曜(祝日の場合は営業)  
※4月～11月中旬の営業  
■小繋字下平 5 Tel & Fax 34-2522  
(佐藤セイ子代表宅)



まだまだ、あります。まちの産直。  
人とのつながりに心も満たされます。

一戸地区、小鳥谷地区にもあります、たくさんの産直。  
地域の喜ぶ顔が見たいと良質でおいしい食材を提供しています。  
さあ、みんなで一戸のおいしさを満喫してみませんか。

▶開店と同時に多くのお客さんが訪れます



## ■他にない1品作りが合言葉 地域活性化の原動力に イコオ産直センター

高原野菜からきゅうり、トマトなど野菜全般、豆腐や漬物、はちみつ、せんべいなどの加工品など、全般的に品数が充実しているのが「イコオ産直センター」の特長です。

野菜は朝取りが基本。新鮮さを勝負にしています。「ただ、現在は店に並べるのが朝1回なので、夕方に買い物するお客さんには、品薄でご迷惑を掛けているのが課題です」と話す柴田忠芳組合長。

冬場もお客さんに喜んでもらえるようにネギやハウレンソウなど、作物づくりに取り組む組合員もいます。「1人1品、他にない作物づくり」を合言葉に取り組みます。

「一戸で取れた農作物を求めるお客さんを大切にしたい」と柴田組合長。組合員の挑戦は続きます。



柴田忠芳組合長

さくらんぼ、梅を生産しています。組合員全体で会議をして、ふんどしを締めなおして取り組みます。



■品名 野菜・果物・雑穀・山菜・キノコ・菓子・漬物・梅・竹細工など  
■営業時間 10:00～20:00  
■休み 1月1日 ■組合員数 35  
■一戸字砂森 123-1 Tel & Fax 32-3433

## ■地域の人に合わせそろえた品 感謝を温かい心配りで返す グリーンふれあい

役場のそばに位置する「グリーンふれあい」は町内各地の生産者の協力を得ながら、平成4年の開業から、17年運営する産直の老舗。地域の人に合わせた品ぞろえに努め、地元産の新鮮な野菜はもとより、手づくりのお弁当やそば、もちなどが好評だ。なかでも冬場の午後5時を過ぎると、店頭に並ぶおそうざいは地域の強い味方。「仕事で疲れた皆さんが、白いご飯に1品おかずを追加できれば」と東山江波代表が話すおそうざいは値段も良心的。

店内の休憩コーナーには、ポットにお茶が準備され、列車を待つ学生や買い物の一休みに気軽に利用できます。

「わたしは中国から来て13年間、優しい人が多いこの町で暮らしてきました。笑顔と気持ちで感謝を伝えます」と東山代表は話してくれました。

■品名 野菜・米・果物・雑穀・山菜・キノコ・菓子・漬物・そば・うどんなど  
■営業時間 月～土曜 9:00～19:30  
日曜 12:00～19:30  
■休み なし  
■高善寺字大川鉢 25-1 Tel & Fax 32-3130

東山江波代表  
昔は、にらやトマトを作っていたけれど、今は、配達や片付けなど店の切り盛りで手いっぱいですね。



◀お弁当も人気の商品

◀ありがたい休憩コーナー

◀食料品から生活用品まで全般にそろいます

## ■お客さんはみんなにここに 地域が愛する楽しい産直 ニコニコ駅こずや

I G R小鳥谷駅内に店を構える「ニコニコ駅こずや」に来店するお客さんはみんなにここ。「何も買わなくてもいいから、話っこしていけばいいよ」と話し掛ける地域の農家のお母さん6人が切り盛りする地域密着型の産直です。

開店すると地域のおじいちゃんやおばあちゃん、駅の利用者がひっきりなしに訪れます。人気商品は開店と同時に炭火で焼き始める串もち。また、地場産のにんにくやりんごをふんだんに使い、組合員みんなで取り組んだオリジナルの焼肉のたれも人気。その他にハウレンソウやにんにく、米など農作物がいっぱい。さらに品数を増やそうと話し合っています。

川畑久美子代表は「自分たちの駅だから人がいないとさびしい。地域の皆さんに親しまれ、長く続けたい」と話します。



川畑久美子代表

みんな立ち寄って話のできる楽しい店を目指します。それがわたしたちのやりがいにもつながります。

■品名 串もち・野菜・米・自家製焼肉のたれなど  
■組合員数 6  
■営業時間 毎週 火・木・土・日 9:00～15:00  
■小鳥谷字中屋敷 1 Tel なし



◀店内は、打ち解けた雰囲気のおじいちゃん、おばあちゃん、お孫さんの笑顔が並ぶ



◀小鳥谷小学校 1年生がまちの探検中でした

## ■地元産にこだわる品ぞろえ 農産物も加工品も豊富 サラダボウル・こずや

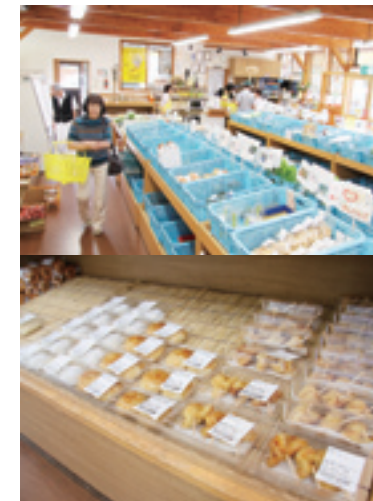
「地元産にこだわって、生産者自らがお客さんに対応するのが大きな特長です」と穀蔵昭蔵組合長が話すサラダボウル・こずや。レジの脇には旬の作物を扱うコーナーを設置し、店内には町内各地の農産物や手づくりの加工品がいっぱい。この時期は旬のさくらんぼ、加工品では串もちがよく出ています。隣接する「そば処こずや」には地元産の手打ちそばに多くの根強いファンも多いとのこと。

地元の人はもとより町外からのお客さんも訪れます。「東北各県からのお客さんも多いが、地元のお客さんの支えがあってこそ」と話す穀蔵組合長。毎月、役員会と全体会を開催し、売り上げやお客様への対応などを話し合います。課題は、育苗期間の6月の品ぞろえと組合員の増員です。



穀蔵昭治組合長

わたしは農業を使わないともろこし、炭を生産しています。組合員の衛生管理にも取り組んでいます。



■品名 野菜・果物・キノコ・山菜・菓子・漬物・惣菜・工芸品など  
■営業時間 9:00～18:00  
■休み 1月1日～3日 ■組合員数 52  
■小鳥谷字道地 43-1 Tel & Fax 34-2040

◀地元産の商品がこだわりの

◀お客さんに好評の加工品



# いわて子ども森に響く「食」の協働

県立児童館いわて子どもの森（吉成信夫館長）は、昨秋から町をはじめとする関係機関などと検討を重ねた結果、「食」といのち」を本年度のテーマに掲げ、地元食材の新メニューを提供しています。奥中山産の牛豚肉のハム・ソーセージ、乳製品、高原野菜が味わえるジャーマン・ドッグセットや雑穀を使ったランチメニューなどをそろえ、地産地消を進めます。

吉成館長は「食といのちの取り組みを進めたい。地元食材で安全、安心、おいしさ届けたい」と話します。

町の奥中山高原温泉が運営するレストラン「ハラヘッタ亭もぐもぐ」の新メニューにかかわる峠館親子を取材しました。

## 地域が一体となって 魅力、価値観を見出せる農業へ



ボールスターファーム 食肉加工部門代表  
ドイツ・フライシャー・マイスター峠館泰之さん



ドイツでの修行時代、店のお母さんといっしょに



六月からランチメニューが、新たに誕生しました

四月からレストランにハム・ソーセージを提供する峠館泰之さんはドイツで四年間修行し、食肉加工のドイツ国家認定資格を持つ。「外国での生活を通して野菜、乳製品、何でもそろえる一戸町の食材の豊かさ」「当たり前ではない豊かさ」を感じました」と話す。

ハム・ソーセージは奥中山産の牛豚肉を原料に合成保存料、着色料を使わず、塩分を控えめに仕上げた。「工場をお借りした岩手ハムの方、町のご協力で、帰国して、すぐに作らせてもらっていることが幸せ」と感謝の気持ちで取り組む。

「母親が食の匠としておいしいものを作り、応える形で食肉を加工する。良い形で連携できているのではないだろうか。今後は地域一体で魅力、価値観をもっと見出せる農業につなげたい」と未来を見据える。



食の匠：峠館登美代さん  
「食の匠」は岩手の豊かな自然の中で生産される食材を伝承、創造する担い手として県が平成8年に創設した認定制度。食文化を地域農産物の拡大やふるさと味のつくりにつなげています。

## 地産の食材メニューにしたら、 たくさん聞こえた「ごちそうさま」

レストランで調理にかかわる峠館登美代さん。食の匠として食育イベント、タッパや研修会の指導など、県の食を牽引する。

地元食材ランチメニュー

は固定せず、例えばアスパラからインゲンへ、ブロッコリーからズッキーニへと季節に合わせて変えながら、町の豊かな食材を提供しています」と話します。

新メニューの評判は上々。「食事したお客さんが、わざわざお礼に来てくれたり、たくさん親子の『ごちそうさまでした』の音が聞こえてくるんです。小さいときから自然素材の本物の味を知ってほしいと思っていましたし、良かった」とうれしそうに登美代さんです。

## 子どもたちに地産の良さを伝える取り組み

近年、食の安全が叫ばれて、消費者の意識は国産品へ移りつつあります。

しかし、一方では地元の野菜はあつて当たり前という意識もあり、野菜がどのように作られているのかと知らないのが現状です。

そして、それは未来を担う子どもたちにも同じことが言えます。

奥中山営農経済センターでは毎年テーマをもって地

産地消を進め、今年は子どもたちに一戸の農産物の良さを伝えることにしました。

農業が基幹産業の町に生まれた子どもたちに地元野菜を知り、元気になるおもしろさを感じてほしいと、高原野菜出発式で保育園児や生産者たちと高原野菜を使ったメニューでの試食を行いました。秋には学校給食に高原野菜を提供する取り組みも企画しています。将来、地元を離れていく人がいても若い世代に地産の良さが伝われば、きっと未来へつながると考えます。

## 奥中山高原野菜出発式での 地産地消メニュー試食会

出発式後に出席者は高原野菜を用いた料理の試食会を行いました。料理を担当した二戸パークホテル柴田富士夫料理長が、和食、洋食、中国料理計15品を披露。出席者は料理を味わい、広がっていく高原野菜の可能性を感じていました。

写真は、料理をおいしそうに味わう奥中山保育所の園児たち。



## 生産者から消費者へ 顔の見える流通を

農産物の流通面から地産地消を考えると、生産者と販売者は顔が見える形でつながっています。さらに消費者までつなげる取り組みが必要で、

具体的には、地元で販売される県産の農産物の中でも、奥中山産に特化し、こだわった部分が消費者に見える商品づくりが必要。それが消費者の地元意識の高揚にもつながっていきます。

大手コンビニエンスストアと提携し、サンドウィッチに奥中山産レタスの使用

を標示するなどの展開も始めています。マスコミなどへの情報の発信の仕方も考えていく必要があります。

奥中山営農経済センターとしては、消費を東北圏内で考える一方で、地元の産直施設などへの技術指導など、農協としてできる部分で協力、連携していきたいと考えています。



▶大手コンビニエンスストアでは奥中山産の新鮮なレタスを用いたサラダなども展開しています

## 若い世代に

## 地産の良さが伝われば きっと未来へつながる

昨年、農協の再編により新たに出発した新岩手農協。その取り組みの中で、豊かな資源と人材を活かして地産地消をどのように考え、進めていくのでしょうか。

新岩手農業協同組合  
奥中山営農経済センター  
米穀園芸課 月花稔課長





# 奥中山高原農協乳業(株)の挑戦。

For Challenge

ここに町の地産地消の鍵を握る会社があります。奥中山高原農協乳業(株) (関根成一代代表取締役社長)。町は昨年、旧いわて奥中山農協所有の乳製品加工施設を無償で譲り受けました。今年度は、国の経済対策臨時交付金を活用し、新商品の製造ライン整備や同社の販売体制強化に向けた取り組みなどを予定。同社を支援し、酪農家とともに地産地消を推進します。

## 自然の恵み、豊かさとは。 地域の良さを知り、伝え、 地域ブランドの確立へ

パル生活協同組合連合会が行う「いわて子どもサマースクール」は、関東圏の子どもたちが命を育む食の生まれ故郷を訪ねる「体験」と「発見」の旅です。奥中山高原農協乳業(株)ではこの取り組みを、消費者が「食」が生まれる生産者の現場を訪問し、語り合い、体験することで交流人口を増やし、地域の魅力を発信する地産地消の取り組みと捉え、受け入れています。七月二十三日、関東圏の小学生二十七人が奥中山高原を訪れ、大吹明さん(奥中山西田子)の牧場で乳搾りを体験、奥中山高原農協乳業(株)では、工場見学とチーズ作りに挑戦しました。参加者は、昼食の町農産物の手づくりメニューをおいしそうにほお張りました。



大吹牧場で興味深そうに乳搾りを行う「いわて子どもサマースクール」の参加者たち。

Interview お話を聞きました

一戸は楽しかった。絶対また来ます



サマースクール参加者  
中村仁美さん(東京都)  
今日は乳搾りをして好きな牛乳がますます好きになりました。お昼ごはんも手づくりでとてもおいしかった。一戸に絶対また来ます。

子どもたちに牛乳を飲んでほしい

乳搾り体験を受け入れた  
大吹牧場 大吹明さん  
子どもたちに牛乳を飲んでもらえるならと乳搾り体験を行っています。希望にあふれる子どもと接することができて楽しかったですね。



## 地域が良くならなければ、 わたしたちの成功はありません

奥中山高原農協乳業(株)に生乳を納める若き酪農家、久保淳さん(久保牧場・中山上家向)。家族経営で九十頭の乳牛を飼育し、毎日、朝五時から夜九時過ぎまで、牧草を育て、搾乳やえさ作りなど牛の世話を行います。久保さんは、小学校の時からふんを片づける仕事など家業を手伝いながら、酪農にやりがいを見出し、家業を継ごうと決意しました。北海道の大学で農業を学び、青年海外協力隊員として、南米のパラグアイで農業指導を二年間行いました。大学卒業後、家業を継ぐため実家の牧場へ戻りました。久保牧場は遺伝子操作を

しない飼料で牛を飼育するNON GMO※(※農家。久保さんは「NON GMO」の配合飼料は年々値上がりし、今がやっていけないぎりぎり。乳量を落とさず、コストを下げるため、飼料の中身も日々、検討しています。コストがさらに上がると生活していくためにこだわりのことを考えなければなりません」と厳しい状況を打ち明けます。「地域が良くなければ、わたしたちの成功はあ



久保牧場  
久保淳さん  
「小学校の時は手伝いばかりで遊べず、嫌でした。でも今思うと、とても良い経験でした」と話す。

## 生産者の思い 代表の決意

五十三戸の酪農家の生乳から牛乳、乳製品を生産し、四十人の地域雇用の場でもある奥中山高原農協乳業(株)。関根成一代代表取締役社長にお話を伺いました。

現在の会社の状況は。

「飼料などの高騰により昨年の四月に三円、今年三月には十円乳価が値上がりし、商品の価格に転嫁できず、とても苦慮しましたが、徐々に定着しています。現在、販売部門の体制を強化し、仙台、関東地域への販路拡大、会社内部のコスト削減にも取り組んでいます」

牛乳の特長は。

「酪農家と工場の距離が近く、鮮度は抜群。朝、酪農

家を持つてきた生乳は、翌朝には製品になっています。また、『奥中山』という産地が明確で、特定できることは大きなPRすべき点ではかの大手でありません。取引先とは、そういった利点を生かして新規拡大していきたいと考えています」

今後の決意を。

「地域の酪農家を背負っている意識があり、酪農業を振興する上で欠かすことのできない乳業工場です。農家が元気になる、社会貢献できるような経営を行い、地域の皆さんと将来に夢を持てるように持てるよ

## 将来に夢が持てる会社に 地域の皆さんと育てていきたい



代表取締役社長  
関根成一さん  
平成17年から3年間、農業委員会の会長を務めた。平成20年8月から現職、2年目を迎える。



# 地域資源を循環する農業へ 地域の価値の再発見へ

これまで見てきた地産地消へのさまざまな取り組み。  
町は、どのような形に集約して、推進するのでしょうか。  
稲葉秀俊産業部長の話から、その方向性を探ります。

## 地産地消に関する 具体的な取り組み

地産地消に関する具体的な町の動きとして今年度は町内八カ所の産直施設のマップを作成しています。

さらに秋には産直施設が合同でスタンプラリーなどのイベントの開催を予定。連携して町内外に情報発信し、交流人口の増加につなげたいと考えています。

町内の産直施設がそれぞれの特徴を活かし、良きライバルとして切磋琢磨することで全体の魅力がアップすることも期待しています。町内では農家が奥中山高

原農協乳業(株)と連携して盛岡市に新たに産直施設を出店したり、消費者に農産物を直送する動きも見られ、地産地消の流れは加速していくと予想しています。

コミュニケーションビジネス支援事業(※1)に今年は三件の申請がありました。事業を通じ、事業者が農産物の加工度を高めることにも寄与したいと思っています。

さらにふるさと雇用再生特別基金事業を利用して、首都圏に町特産品を扱うアンテナショップの開設も予定し、こうした動きが町を売り込む起爆剤になるようにしたいと考えています。

世界の動向をつかみ  
地域循環型の農業へ

わたしは、地産地消を二つの側面からとらえることができると思っています。一つは地域で生産された農畜産物を流通コストを抑えて自ら売り、収入を確保する経済的側面。対面販売で交流や新たなニーズも把握できます。もう一つは地域食文化や食文化に対する理解の促進。食育や食文化の継承や発展、地域の誇りや価値創造へつながります。

これらの側面に加えて、今後の世界的な人口増加による食糧危機、止まらない

地球温暖化、石油をはじめとする資源エネルギーの枯渇化で生じる肥料、飼料、農業用資材の高騰、40%を切った日本の食料自給率など、世界的な動きや日本の方向をつかみ、地産地消に取り組む必要があります。

あり、多様な経営体の中で第6次産業化(※2)へ向けた動きを加速することが必要だと考えます。それが消費者が見える産直の内容の充実にもつながります。

## 地域の価値に自信を 町の産業に応援を

一戸の農産物や食文化は町外の人から高い評価をいただいています。一戸に住む皆さんが生産者と顔が見える形でつながり、それらの価値を見出し、自信を持ってアピールできることは町、生産者にとっても心強い後押しになります。町の産業の応援をお願いします。



一戸町役場 産業部 稲葉秀俊部長

わたしたち産業部の使命は、できない理由を考えるより、できることからこつこつと一緒に頑張って動き出すことだと考えます。

また、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジする人材の発掘、育成、地域の魅力の再発見にも努めます。職員一同、地域の皆さんとともに地域の発展のために継続して進化できるよう取り組んでいきたいと思っています。

※1：地域の人材や資源の活用による地域に密着した新たな事業創出を図るための町補助金制度

※2：農畜産物の生産だけでなく、食品加工、販売、流通にも総合的にかかわる新しい農業形態



鶏肉(二戸産)以外はすべて町内産

「ふるさと給食」が7月17日に行われました。小鳥谷小学校では6年生の児童12人が野菜を生産する岡本恒造さん、さくらんぼを生産する小姓堂京子さん、給食を調理する食育センター職員と一緒に町内産の食材で作った「ふるさと給食」を食べました。児童と生産者、食育センター職員は机を合わせて座り、大きな声で「いただきます」。お互い少し照れていましたが、顔を合わせて食をともし、実り多い時を過ごしました。

いつも、おいしい給食をありがとう。  
生産者、調理者と食べる  
地域の食材いっぱい「ふるさと給食」。



野菜を生産する岡本恒造さん(中央)と給食をおいしそうに食べる児童たち。岡本さんのうれしそうな笑顔が印象的です。

## 食べる姿を見て出る張り合い



さくらんぼを生産する小姓堂京子さん  
食べる姿を見て、張り合いが出ました。さくらんぼ畑にいる時も子どもの顔が思い浮かびます。今後も喜ぶ顔を楽しみにがんばります。

## 生産者、調理者に会い安心感がある



小鳥谷小学校6年小瀧美和さん  
初めて食材を生産する方、調理する方に会いました。ふるさと給食はとてもおいしかったです。皆さんの顔を見て、安心感がありました。

## 給食をもりもり食べてうれしい



食育センター栃木アイ子調理員  
給食を残さなくてももりもり食べる子どもたちを見て、今日はとてもうれしかったです。これから給食を作る大きな励みになりました。



あ～、おいしかった。  
ごちそうさまでした。

■取材、編集を終えて  
「当たり前でない豊かさ」。特集に関する取材を通して、最も印象に残った言葉です。身の回りにある野菜、牛乳、自然：当たり前前に感じる環境を今一度、わたしたちの町の財産と考える必要性を感じました。昭和六十二年から平成十七年までの二十一年間で農業就業人口が約半数まで落ち込んでいる現実、当たり前前にあったものの価値を無くしてかから気付くのでは遅すぎることは誰の目にも明らかです。町の豊かな環境をもう一度見直し、苦しい状況にある産業を前へ進めようとする人たちが、町にたくさんいます。地産地消は、お互いがつながって、その価値を見出し、内外へ広げる基点づくりのように感じます。先月の「食育」今月の「地産地消」の特集、そのつながりの中で、町の価値を再発見し、発信するきっかけになることを願っています。



# 走る幸せを力に

東北マスタース陸上競技選手権大会、  
四〇〇メートルで十二年ぶり日本新記録を樹立  
県では一〇〇メートル、二〇〇メートル、四〇〇メートル三冠

県では最優秀選手に選出、  
東北は一〇〇メートルでも優勝

マスタース陸上とは、三十  
歳以上の日本マスタース陸上  
競技連合の登録者が出場でき  
る大会で、三十歳から百歳を  
超える選手が登録している。

県総合運動公園で六月  
二十一日に行われた岩手県マ  
スタース陸上競技選手権大  
会に出場した西館敦さんは、  
一〇〇メートル、二〇〇メートル、四〇〇  
メートルで優勝、いずれも県と東北  
の大会記録を更新する圧倒的  
な強さで、同大会での最優秀  
選手にも選出された。

われた東北マスタース陸上競  
技選手権大会では、一〇〇メ  
と四〇〇メートルに出場。一〇〇メ  
は十一秒五一で優勝、四〇〇  
は五〇秒八二のタイムで  
十二年ぶりに日本新記録を更  
新して栄冠を手にした。

目標タイムに届かずも  
祝福にあふれるうれしさ

西館さんは大会を振り返り  
「実は学生の人と競い合うイ  
メージで走り、自分の目標タ  
イムに届かず、競技後『チク  
ショ』と叫んだんです。け  
れどみんなが『日本新記録』  
と喜んでくれて、本当にうれ  
しかったです。歴史に名前を  
残せたことも年代別に陸上に

取り組む人を受け入れるマス  
ターズがあるから。年を経て  
も向上心を持って挑める場が  
あることは幸せです」と話す。

仕事で体の理論を学び、  
陸上選手としても開花

西館さんの強さは、年代を  
経ても記録を伸ばし続けてい  
ること。一戸高校陸上部時代  
は、県大会に出場するレベル。  
高校を卒業し、県内に就職。  
近くの競技場で陸上を楽しむ  
西館さんに転機が訪れた。  
それは、仕事として子ども  
たちに運動を教えるインスト  
ラクターになったこと。体の  
動かし方、使い方を基礎から  
学ぶ日々が始まった。講習会

に参加し、専門書を読んで  
理論の理解に努めた。水の中ト  
レーニングにも取り組んだ。  
理論の習得だけでなく、イン  
ストラクターとして自身が実  
践し、陸上にも取り入れたこ  
とで記録も飛躍的に伸びた。

走ることを極め、  
多くの人に伝えたい

五年前にふるさとへ戻り、  
いちのへ文化・スポーツNP  
Oの立ち上げに携わり、事務  
局員に就任。子どもから年配  
の方まで地域の人たちに運動  
の楽しさ、大切さを伝えるか  
たわらで陸上にも取り組む。  
「立派な競技場があり、職  
場や家族の応援もあって、打



## 西館 敦さん

にしだて あつし  
いちのへ文化・スポーツNPO勤務。30歳。身長174センチ、  
体重61キログラム。好きな言葉はマラソンの高橋尚子選手の  
「何も咲かない日は下に太い根を伸ばそう」「成果が  
表れなくても、無駄な努力は無いと考え、下に太い根  
を張るつもりで日々取り組んでいます」と笑顔で話す。  
自己ベストは100メートルは11秒27、400メートルは50秒11。

Nishidate Atsushi

ち込むものがある。わたしは  
本当に幸せですね。仕事も家  
庭も考えながら、時間が二十  
分しかなくても、毎日練習を  
続けます。競技力を高めるに  
は、理論やコツがあります。  
型にはめず、状況に合わせた  
方法でいろいろなトレーニング  
を行います」と西館さん。  
「自分にとって、陸上は単  
に趣味だけではないんです。  
子どもたちに成果を示すこ  
とで、運動を続ける大切さや  
楽しさを伝えることにつなが  
る。今後は、『走る』という  
基本動作を納得するまで極  
め、得たものを一人でも多く  
の人に伝えていきたいです」  
と流れる汗をぬぐう。

「応援があつて、打ち込むものがある。  
わたしは本当に幸せです」





「元

気で負けず、声を  
出して体を動かし、  
守備でも打撃でも一球に集中  
する自分たちの野球ができた  
と思います」と湊英成キャプ  
テンが振り返る全国スポーツ  
少年団軟式野球交流大会県予  
選いわての牛乳カップ。

一戸野球スポーツ少年団は  
六月二十七、二十八日、楽天  
イーグルス岩泉球場などで行  
われた四試合を勝ち抜いた。  
準々決勝は大船渡野球少年  
団に最終回まで4点差をつけ  
られる劣勢を追いつき、延長  
戦特別ルールで3点先行され  
てなお食らいつき、その裏に  
4点を挙げ11対10でサヨナラ  
勝ち、執念で準決勝へ進出。  
準決勝も打ち勝ち、決勝の  
舞台へ。相手は初優勝を目指  
し、地元の大応援を受ける田  
野畑ニューウェーブと対戦。

「勝ちたい気持ちが相手が  
一枚上だった」と小森正三監  
督が唇をかむ決勝は1対5。  
惜しくも準優勝に終わった。

「去年のレギュラーは一人  
もいない。プレッシャーの中、  
三年連続決勝進出は本当によ  
くやった」と小森監督は練習  
する子どもたちを見つめる。

第29回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会岩手県予選  
いわての牛乳カップで3年連続決勝進出した

一戸野球  
スポーツ少年団

貫いた一球集中



第44回全日本少年剣  
道錬成大会に出場した

小鳥谷五月館  
剣道スポーツ少年団

合言葉は、  
「がんばればできる」



「面

、小手、胴！」大き  
な声と竹刀の音が  
響く小鳥谷公民館。ここで稽  
古を重ねる小鳥谷五月館剣道  
スポーツ少年団は六月二十一  
日に岩手県営武道館で行われ  
た県下少年剣道大会、九十四  
チームのトーナメント戦で  
準々決勝に進出、七回目の全  
国大会出場権を獲得した。

大会を前に、キャプテンで  
副将の瀧澤凜君（小鳥谷小六  
年）は「大事なところで必ず  
一本取る」と抱負を語った。  
七月二十八日に武道の聖  
地「日本武道館」で開催され  
た第四十四回全日本少年剣道  
錬成大会には、全国の強豪  
五三二チームが集結。

初戦は厳心館（佐賀県）、  
二回戦は奈良二名会（奈良県）  
を接戦で破る快進撃を続け、  
三回戦で丸瀬布剣道スポーツ  
少年団（北海道）に1対2で  
惜敗したが、過去七回の出場  
で二番目の好成績を収めた。

仁昌寺博監督は「全員が『が  
んばればできる』と冬場も  
しっかりと打ち込んだことが実  
を結んだ。ご支援いただいた  
皆さんに感謝したい」と全国  
に挑んだ子供たちを讃えた。

# 粘りのバレーでW入賞の快挙

一戸クラブ 男子：県民体育大会で2年ぶり7回目の優勝  
女子：つかんだ歓喜の準優勝、さらなる飛躍へ

interview

◎大会優秀選手に聞きました

学生の盛り上がりも期待

佐々木 真選手（ライト）

わたしもプレーの感触は良かった  
ですが、チーム状態もとても良く、  
代表で優秀選手を  
いただいたものと  
考えています。  
小中高などの学  
生のバレーの盛り  
上がりも期待しま  
す。一緒にがんば  
りましょう。



みんなのがんばりのおかげ

姉帯美佐子選手（センター）

今回の優秀選手の選出はチームの皆  
さんのおかげです。みんなががんば  
っていたので、  
わたしもがんば  
ることができま  
した。チームを代  
表していただく  
ことができ、光栄  
です。次の試合も  
がんばります。



男女メンバーを募集。

一緒にバレーをしませんか。  
男女とも毎週火・金曜日の  
夜に一戸中学校体育館で練  
習しています。お気軽にい  
らしてください。

詳しくは、役場税務町民  
課の西館（☎ 33-2111 内線  
123）までご連絡ください。

「カ

バー、しっかり」。  
一戸中学校体育館で  
毎週火、金曜日の夜に行われ  
る一戸クラブの練習。

それぞれに仕事を終えた選  
手たちは、疲れも見せずに  
コートに立ち、男女が協力し  
て、真剣な表情で練習に励む。

その一戸クラブが男女とも  
に第六十一回岩手県民体育大  
会バレーボール競技（七月四  
五日、花巻市民体育館）で快  
挙を成し遂げた。

成年六人制町村の部で、男  
子は二年ぶり七回目の優勝、  
女子は決勝で惜しくも滝沢村  
に破れたが、準優勝を飾った。

男子は一回戦で昨年優勝の  
滝沢村と対戦。要所でライト  
佐々木真選手がブロック、ス  
パイクに活躍し、ストレート  
で破り、勢いに乗った。準決  
勝でも住田町をストレートで

撃破。決勝では藤沢町を相手  
に鍛えた上げたブロック8本  
を決め、すべてストレート勝  
ちで頂点へと駆け上がった。

今回の優勝に女鹿口孝ブレ  
イヤー兼監督は「連覇を狙い  
敗れた昨年からは、さらに練習  
を積み重ねた。試合では力を  
付けた若い選手が、要所で普  
段どおりの思い切ったプレー  
ができ、今回の優勝はひとき  
わうれしく感じます。この優  
勝で若い選手がさらに成長す  
ることを期待しています」と  
頼れる次世代の成長を喜ぶ。

一戸クラブ男子は、大型選  
手がそろってはいないが、粘  
り強いレシーブで相手の弱点  
を突くスタイルが信条。若さ  
で試合の勢いに乗れることも  
今回の大きな収穫だ。  
今後の課題は、サーブのバ  
リエーションを増やすこと。

次の目標は、苦しい時に助け  
合えるチームを作り上げ、ク  
ラブカップ全国大会のコート  
にみんなで立つことだ。

女子も負けてはいない。一  
回戦は粘りに定評がある岩泉  
クラブ戦。これまで勝ち星の  
無い相手にも、若さで粘り負  
けない激しいラリーを展開、  
センター姉帯美佐子選手のブ  
ロックで試合の流れを変え、  
2-1で熱戦をものにした。  
続く決勝の相手は、連覇を  
目指す滝沢村。自分たちのバ  
レーを展開するものの、相手  
のパワーに押し切られ、攻め  
切ることができなかった。

加藤由紀子キャプテンは  
「表彰式ではみんな大喜びで  
した。わたしたちは若いチー  
ムですが、コンビバレーに取  
り組み、来年は優勝を目指し  
ます」とさらなる飛躍を誓う。





「断つても『どうしても』って来たんだよ」と笑うタマさん(左)とミミさん(右)

## 理想な布仕事ここに

どんぐり村にアメリカから研修生

アメリカ合衆国ニューメキシコ州に住むリップス・ミミさんが鳥海地区どんぐり村（月館赤屋敷、赤屋敷信一村長）の赤屋敷タマさんから布仕事を教わろうと研修に訪れました。ミミさんは長崎出身で結婚を機に、アメリカに移住。

アメリカで織物の仕事を始めるために勉強がしたいと思ったミミさん。理想的な布仕事を行うタマさんが掲載された雑誌を頼りに6月半ばにどんぐり村にやってきました。「材料の調達の仕方から編み方まで毎日がとてもためになります。帰国してからがんばります」とミミさん。自炊しながら泊り込み、7月いっぱいまで研修を続けました。

## 栗 第37回町民登山に参加者54人が満喫 駒山の頂に笑顔も晴れやか

雨が心配された7月12日、第37回町民登山が行われました。早朝5時に集合した参加者63人は元気に栗駒山を目指しました。一関市の登山口、須川温泉に到着。参加者はさわやかな高原の風を感じながら、頂上を目指して元気にスタートしました。

名残ヶ原（お花畑）のワタスゲ、イワカガミなどの高山植物が咲き乱れる広大な湿原を通り、スカイブルーが色鮮やかな昭和湖を経て、360度見渡せる山頂へ全員到着。参加者は心地よい汗をふきながら、記念撮影を行いました。参加者の熱気で雨も寄せ付けない大満足の町民登山でした。

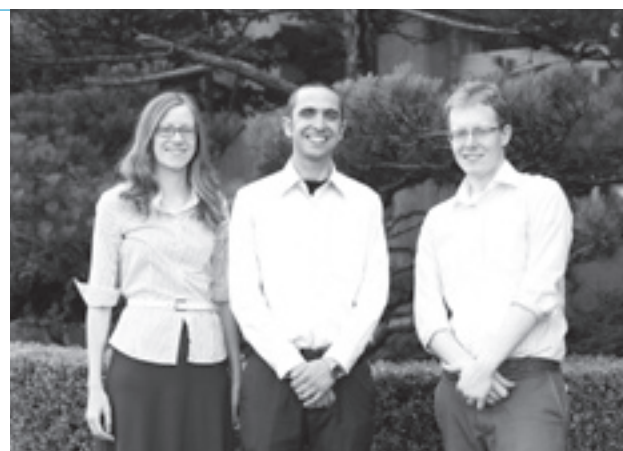


満足げな表情で山頂での記念撮影を行う参加者たち。

## サ 外国語指導助手2人が任期を終え、帰国 ンキュー、いちのへのミナサン

この夏まで町内の幼稚園、小中学校で外国語の指導を行ったALT（外国語指導助手）が任期を終えました。

アレクサンダーさん（写真右）は「わたしがこの町にきた日、歩いていると地域の人々が『新しい先生』と迎えてくれ、うれしかった」と思い出を話しました。ダニエルさん（写真中）は「生徒はベリ元氣、親切にしてくれてありがとう」と感謝の気持ちでいっぱい。ダニエルさんの奥さん、タイラーさん（写真左）は、ボランティアで英会話教室の先生を務めました。「教室はすごく楽しかった。生徒が一生懸命だったから」と一戸での充実した生活を振り返りました。



ALTを務めた皆さんはそれぞれの目標に向かい、一戸を後にします。

## 緑 御所野縄文公園で「めもと写真」撮影会 に映える幸せきらり

社会福祉協議会（川又博会長）主催の長寿祝い品贈呈事業「めもと写真」の撮影会が7月28日に御所野縄文公園で行われました。この事業は、町内の78歳以上の夫婦の記念撮影を行い、写真を祝い品として贈呈するもの。昭和52年から継続しており、皆さんから大変喜ばれています。

これまでスタジオ撮影を行っていましたが、一戸写真の高村正彦さんと社会福祉協議会が話し合い、緑豊かで世界遺産を目指す御所野遺跡が記念になると撮影場所に決めました。

28、29日で12組の撮影を行い、スーツや着物に身を包んだ夫婦が晴れやかで幸せそうな表情で撮影に臨みました。



「これからも仲良く長生きしたい」と話す泉久保儀一郎・ハツヨさん夫妻。

## 世 御所野遺跡で発掘調査が始まりました 界遺産へ向けて、また一歩

国指定史跡の御所野遺跡では7月15日から発掘調査を開始しました。今回の調査は遺跡中央部のストーンサークルの南側に位置し、一段高く土が盛られている「盛土遺構」と呼ばれる場所を行います。ここは大量の土器や石器のほかにも燃やされた動物の骨や炉の跡が多く出土し、縄文人がまつりを行ったのではないかと考えられている場所です。

菅野紀子調査員は「調査の目的は『盛土遺構』の形成過程を調査することです。10月ごろまで、火～土曜日の天気の良い日は調査を行います。今回の発掘は貴重な機会。見学は自由なので、お気軽においでください」と話しています。



奥に見える屋根は、ストーンサークルに復元されている建物のものです。

## 忍 町保護連が楽しい人形劇を開催 者だ、手裏剣シュシュ

町保育施設保護者会連合会（合川渡会長）主催の人形劇サークル「じゃんけんぽん」鑑劇会が、7月22日にコミュニティセンターで行われ、保育園児ら約280人が参加しました。「じゃんけんぽん」（湯川友子代表）は、軽米町で活動する4人組の人形劇サークル。この日は影絵の「ハールメンの笛吹き」や「ねこのお医者さん」などを披露し、園児たちは大喜びで鑑劇しました。

小繋児童館の片野颯太くん（はと組）は「いろいろ見られておもしろかった。最後の忍者ごっこは、本当に忍者になれたように楽しかった」と息を弾ませながら話しました。



人形劇の最後には、参加者全員で忍者ごっこを楽しみました。





# ★一等星

## ♪一歳になったよ♪

釜石 咲希ちゃん  
(奥中山西田子)  
平成 20 年 4 月 19 日生まれ  
お父さん 暢さん  
お母さん 理枝さん  
お父さん、お母さんから一言  
元気に健康で育ってね♥



山本 桜空ちゃん  
(小鳥谷中屋敷)  
平成 20 年 5 月 5 日生まれ  
お父さん 良昭さん  
お母さん 香澄さん  
お父さん、お母さんから一言  
もりもり食べて大きくなってね♥

小野寺 七海ちゃん  
(西法寺諏訪野)  
平成 20 年 5 月 8 日生まれ  
お父さん 祐登さん  
お母さん 恵里さん  
お父さん、お母さんから一言  
元気にたくましく育ってね♪



南館 瑛太ちゃん  
(西法寺稲荷)  
平成 20 年 4 月 24 日生まれ  
お父さん 英明さん  
お母さん 祐香子さん  
お父さん、お母さんから一言  
元気に育ってね♥

## 広報クイズ

〜一戸町共通商品券〜  
(1,000 円分)  
3 人にプレゼント!

先月号の当選者は、田村望さん(一戸町)、不来方安子さん(中山大塚)、高沢雪子さん(平糠田岡)です。おめでとうございます。

◎広報クイズです。  
問題 今月の地産地消特  
集のタイトルは、ずばり  
何でしょうか?  
「〇ちのへ、〇いもの、  
〇たきます」  
ハガキにクイズの答え、  
住所氏名、年齢(学校名・  
学年)、電話番号を記入し、  
〒028-5311  
一戸町高善寺字大川鉢  
24-9 広報クイズ係まで。  
(八月二十八日締切り)  
※余白に町政へ提言など  
自由にお書きください

田頭里恵さんでんどう・りえ  
奥中山産直ひろば新鮮組 23 歳  
四月から奥中山産直広場  
「新鮮組」の販売員として店  
に立つ田頭里恵さん。新鮮組  
の看板娘だ。  
「自由にやっていいよ」と  
新鮮組の槻館正子代表に勧め  
られたものの、接客には不  
安があったという里恵さん。  
しかし、おじいちゃん、お

ばあちゃんが大好きなので、  
人生の先輩にいろいろ学ぶ  
つもりでこの仕事に取り組  
もうと考えた。  
店で接客を行うほか、店で  
扱う手芸品を作ったり、農作  
業を手伝うこともある。  
休みの日にはドライブや  
カラオケ、読書など、気分に  
応じ、自然体で過ごす。  
仕事の楽しさを伺うと「人

とふれあい、毎日笑うことが  
できてうれしい。食材の調理  
法や人との付き合い方など、  
お客さんや組合員が教えて  
くれて、日々が勉強になりま  
す」と笑顔で話す里恵さん。  
「今後は新鮮組を盛り上  
げ、地域の良さを伝えること  
ができるようがんばります」  
と頼もしい看板娘だ。  
〇趣味は?―読書

## ♪一歳になったよ♪

— 9 月に 1 歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! ご希望の方は 8 月 28 日までに広報までご連絡願います

## がんばっています、中学校クラブ紹介

鳥海中学校女子バスケ部

■部員 女子 6 人 ■顧問 長尾満教諭 千葉和之教諭



◎中学校総合体育大会をもって残念ながら廃部。しかし、最後まで全力でコートを駆け回りました

※山本可南子さん (No. 7) …バスケで体力、持久力がつき、あきらめない  
気持ちで戦い抜きました。高校でもチームワークを活かしがんばります。  
※東山優佳さん (No. 6) …バスケで粘り強くやりぬく力がつき、仲間の大切  
さを学びました。きずなを生徒会活動、高校生活にも活かします。  
※北香奈美さん (No. 4) …先生方やチームのみんなを信じてプレーするこ

との大切さをバスケで学びました。受験勉強もがんばります。  
※東山慧美さん (No. 5) …たくさんの方に支えられ、感謝の気持ちを持つ  
大切さを感じました。身に付けた精神力で勉強も運動もがんばります。  
※中村怜恵さん (No. 8) …バスケで技術面、精神面で成長でき、団結力が  
深まりました。勉強もがんばって、高校でもバスケを続けたいです。

## 町の文芸

### 短歌

長病みの老父に新居建てやるも  
七日生きしと喪主の挨拶  
満面の輝やく笑顔シャンソンを  
舞台上に響かせ友誇らかに  
白光るヒトツバタゴの花仰ぐ  
子の学びたる学府の庭に  
ねんごろに骨粗鬆症新薬を  
説き賜はりぬ医師の手温し  
斜畑など巡れば惚ぶあこのころの  
南瓜の蔓もやせて伸びにき  
霧深き朝の山路は外灯の  
点さるるまゝ老鶯鳴けり  
黙々と只黙々と歩くとき  
知らぬ自分に出会ふ嬉しき  
アカシヤの花の天麩羅夕膳に  
香り染しみ酒酌みかわす  
涼風の吹き渡り来て天守閣  
松本城下緑は萌ゆる

### 俳句

椽の実の玉のごとくに育ちけり  
隣家より純白貴なる芍薬を  
咲き群れる白き蹠躑のほの明かり  
口上の切れめはたたきバナナ売り  
潮来舟下る両土手あやめ咲く  
ほととぎす歩みを止めて鳴くを待つ  
花活けて大会準備夏兆す  
子も連れて釣り人並ぶ夏岬  
梅雨寒や近くに怖き謎の国  
芋の葉に水玉置いて雨去りぬ  
植ゑし田の水面彩る夕茜

六月短歌・俳句会  
一戸町文化協会俳句部会  
会場 小鳥谷地区公民館

柴田	サヨ子	岩淵	良子	初森	テル	女鹿	昌子	中村	ちよ	仁昌寺	洋子	佐藤	大暁	馬林	京子	東山	智子
仁昌寺	洋子	女鹿	昌子	岩淵	良子	駒木	秋影子	東山	智子	高木	満里	柴田	のぞみ	柴田	サヨ子	中館	木実
中村	ちよ	根反	与之														

※中央の模様は、柴田外男広報編集委員(中山大塚)がデザインしました



## 運動公園だより

## Sports

夏の疲れがピークになる時期ですね・・・カラダやココロ「だるく」ありませんか？

## そんな方にオススメ軽運動「ヨーガ教室」のお知らせ

★健康や美容への関心の高い方に効果的な健康法・美容法として注目を集めています★

「ヨーガってやったことないから」、「カラダ硬いから」、「小さい子がいるから」そう思っている方も安心して参加していただける教室です。

まずは、ご自分のできる範囲で無理なくヨーガの空気に触れてみましょう。

きっと、今よりココロとカラダの「だるさ」が癒やされます。

■期 日 8月21日（金）、9月18日（金）

■時 間 19：00～20：30

■参加料 200円（いちのへサンビレッジクラブ会員は無料）

■会 場 一戸町コミュニティセンター（多目的ホール）

■講 師 鈴木マリ子先生

■持ち物 床に敷くもの（バスタオルやストレッチマットなど）

■その他 内履きは必要ありません。教室中は素足で行います。  
託児も承りますが、初めての方は事前にご相談願います。

■問合せ いちのへサンビレッジクラブ事務局（運動公園内）



▲前回のヨーガ教室の様子です。

☎31-1400 休館日 8月24・31日 開館時間 火～金 10:00～19:00 土日祝 9:00～18:00

## 図書館だより

## Books

夏休み特別開館日 3・10・17日 開館時間 10：00～17：00  
お盆中の開館時間 13～16日 開館時間 9：00～17：00

『パラドックス実践 雄弁学園の教師たち』  
門井 慶喜／著、講談社／刊

6歳から演説、議論、陳述研究の訓練に励み、大人も太刀打ちできないほどの技術を持つ高校生たち。弁論術学習に特化した超エリート校「雄弁学園」。

議論混乱をきっかけに担任を休職に迫り、新担任には難題を投げかけていきます。初等部、中等部、高等部、大学を舞台にした4つの学園小説です。

## 新刊紹介

『農家が教える 加工・保存・貯蔵の知恵』  
農文協／編、農山漁村文化協会／刊

「野菜、くだものを乾燥して保存」「寒ざらし、冬につくる保存食」「冷凍、冷蔵保存のこつ」「保存、貯蔵の原理」などの各章から農家の知恵が満載の本です。

日本の一地域だけでなく、古今東西の「人類の保存の知恵」が集まっています。

時には師に、時には友に。

今日は読書びより

『直売所だより』

山下 惣一／著、創森社／刊、2008年

直売所が現代より少なかった1990年に直売所「みなとん里」を開設。「生産者も消費者もともに地域の生活者として食べ、暮らすことによって地域を支援していく。それが直売所の目的だと私は信じて」歩んできた道のりや苦悩などを描いた本。

町の情報ステーション「死生観」

宗教や地域などの違いによって、ご先祖様のご供養も変わります。今月は宗教やお墓づくりなど、この時期、関心が持たれる本を集めました。

こどもの本の特集は「あなたの知らない世界」

神話の世界や妖怪のお話は好きですか？世界の神話、妖怪が主人公の本を集めて、みなさんのお越しをお待ちしています。

8月のイベント

- ・とことこおはなし会 8月18日（火） 11：00～  
対象：3～5歳児
- ・夏休み映画会 8月22日（土） 14：00～  
対象：小学生
- ・図書館映画会 8月22日（土） 11：00～  
対象：幼児から小学生

（平成20年度読書推進標語奨励賞作品）

## 地域包括支援センターだより

## Health

～こんにちは、一戸町地域包括支援センターです～

## 孫による認知症講座 「私の友蔵おじいちゃん」

## ◎認知症の方を支えるため皆さんの理解を

認知症の方に対する理解を深めるため、7月17日（金）小鳥谷小学校で孫による認知症講座を開催しました。

今回は4年生の児童を対象にして、劇『私の友蔵おじいちゃん』を包括支援センターのスタッフ6人で演じました。参加した児童からは、「お年寄りの人にもっとやさしく接してあげたいなあと思いました」「認知症が脳の病気だと聞いてびっくりした」などの感想がありました。

認知症の方の数は全国で170万人いると言われており、20年後には約2倍に増えると言われています。

これは一戸町も例外ではありません。認知症の方を支えていくためには、皆さんの理解を深めていただくことも大切です。

包括支援センターでは、地域でのさまざまな教室で、



▲右が友蔵おじいちゃんです

今回のような劇などで、認知症に対する理解を深めていきたいと思います。興味のある方は、ぜひ包括支援センターまでご連絡ください。

8月の家族介護者交流会は、8月20日（木）に開催します。希望の方は下記までご連絡ください。当日の参加でも結構です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

■申込み先 地域包括支援センター

☎32-3700 内線 603・612・616

☎32-3700 保健係・福祉係・児童係

## 総合保健福祉センターだより

## Health

## がんを予防しましょう！

がんは近年増加の一途をたどり、現在、実に日本人の約3人に1人が、がんで亡くなっている状況です。一戸町では平成20年には、がんが死因の約3割を占めています。「健康いちのへ21プラン」では、全がん死亡率の減少を目指し、各種がん検診の受診者数の増加を目標にしています。がん予防と言っても、内容はさまざまです。ポイントを押さえ、自分ができることからがん予防に取り組みましょう。

## ・がん予防はまず食事から

- ①がんを撃退する抗酸化食品（ビタミンA・C・Eなど）が多く含まれる、緑黄色野菜・果物・きのこ類・お茶などを取るように意識し、バランスよく取るましょう。
- ②体内を掃除してくれる食物繊維を多く取る。
- ③食塩の取り過ぎに注意。（酢やしょうが、スパイスなどをうまく活用しましょう）

## ・適度な運動で免疫力アップ

適度な運動は心身を健康に保ち、体の免疫力を高めます。気軽にできるウォーキングがお勧めです。

## ・がんを寄せつけない生活習慣を身につけよう

- ①ストレスを解消する。
- ②たくさん笑う。（笑いが、がん細胞を攻撃し、免疫系の働きを高める細胞が活性化します）
- ③禁煙する。
- ④アルコールはほどほどに。（週に2日はお酒を飲まない日をつくりましょう）

## ・検診で早期発見、早期治療

がんは不治の病ではなく、「治る病気」になってきました。そのためには、早期発見が不可欠です。年に1度は必ずがん検診を受けましょう。また、精密検査が必要な方は、すみやかに医療機関を受診しましょう。

## ■保健カレンダー

- ・結核・肺がん・特定検診・大腸検診  
9:00～11:00 13:30～15:00  
9月7日（月） 保セン  
9月14日（月） 保セン  
9月18日（金） 小鳥谷地区公民館  
9月25日（金） 奥中山農業団地センター
- ・乳児・1歳児健診  
9月1日（火） 13:00～ 保セン
- ・2歳6カ月歳児健診  
9月3日（木） 13:00～ 保セン
- ・3歳児お誕生月歯科相談  
9月15日（火） 9:15～ 保セン
- ・1歳6カ月歳児健診  
9月8日（火） 13:00～ 保セン
- ・5歳児健診  
8月21日（金） 9:30～ 保セン
- ・少児救急講習会  
8月22日（土） 14:00～ 保セン
- ・精神保健デイケア事業  
9月10日（木） 9:00～ 保セン  
8月17日（月） 13:00～ 保セン  
※事前に申し込みをお願いします  
・こころの悩み事相談：必要により専門医が相談に応じますのでご相談ください。
- ・助産師が妊産婦・新生児などの家庭訪問を行っています。  
詳しくは保健係（☎32-3700）まで





## 地域で行う介護予防活動資金の一部助成について

地域で介護予防に取り組む町内会などを応援するため、二戸地区広域事務組合では二戸地域保健福祉活動支援事業として活動資金の一部を助成します。

また資金助成以外にも、活動スタッフや講師の調整などの支援も行いますのでご相談ください。

### ■対象者

介護予防に取り組む町内会、自治会など（他に助成金を受けて実施している場合を除く）

### ■対象事業

介護予防のための健康、生きがいづくり活動、講座や座談会の開催など

### ■補助額

補助対象経費の10分の8以内。上限3万円

### ■受付期間

8月20日～9月20日

【問】二戸地区広域行政事務組合  
介護保険推進室 ☎23-7772  
町健康福祉課 ☎32-3700  
町社会福祉協議会 ☎33-3385

## 高齢者冬期居住施設の入居者募集

冬期間中の入所を希望される方を募集します。60歳以上のひとり暮らしや高齢者世帯の方で、自宅での生活に不安はあるが、日常生活が自立している方が対象です。

### (1) 高齢者生活福祉センター

- ①場所 一戸字砂森 結愛サービス公社2階
- ②入居費用 0円から50,000円／月（本人の収入により決定します）
- ③食事代 基本的に自炊していただきます。ただし、公社の給食を利用した場合1,380円（3食）
- ④光熱水費 4,300円／月
- ⑤暖房費 5,000円／月（冬期間11月から4月まで）

### (2) あったかホーム

- ①場所 岩館字沢田 一戸中学校前シルバー人材センター裏
- ②入居費用 実費負担となるので、入居人数により増減があります。食材費、光熱水費、管理費など込みで62,000円から82,000円程度となる予定です。
- ③管理体制、食事 24時間管理人はいますが、介助はできません。夜間は宿直態勢となり定時巡回のみ行います。食事は入居者が協力して作り、管理人がお手伝いします。

【問】健康福祉課 福祉係 ☎32-3700

### (3) 保健福祉支援ハウス

### ①場所 高善寺字大川鉢

元県立病院の官舎

入所は2名の共同生活ができる方

### ②入居費用・部屋利用料

0円から12,500円／月（本人の収入により決定します）

### ③食事代

自炊していただきます。

### ④光熱水費 実費負担

(1)～(3)のいずれも場合も、入所の可否については、一戸町地域包括ケア会議で検討のうえ、10月下旬までに決定し、通知します。

### ■入所期間

平成21年12月から平成22年11月まで（あったかホームは3月まで）

### ■申込期限 平成21年9月7日(月)

【問】健康福祉課 福祉係 ☎32-3700

## 児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届などについて

児童扶養手当及び特別児童扶養手当の受給資格者は、それぞれの手続きを行なうことで1年間の支給額などが決定されます。

まだ手続きをされていない方は、児童扶養手当（現況届）については8月31日(月)、特別児童扶養手当（所得状況届）については9月10日(木)までに、町総合保健福祉センターで手続きを行ってください。

【問】町健康福祉課 児童係

☎32-3700 内線604

## 一戸交番だより

## 防災意識の高揚について

岩手県内では、昨年6月と7月に2つの大きな地震が発生し、震源地の周辺では甚大な被害に見まわれました。また、近い将来高い確率で宮城県沖地震が発生すると言われ、私たちが住む県北地域でも被害の発生が心配されます。

さらに、毎年のように台風などによる風水害や、近年ではゲリラ豪雨といわれる集中豪雨により、多くの住民や家屋などが犠牲となっています。

8月30日～9月5日は防災週間です。災害が発生したら、あなたはどうしますか？災害に備えて、日ごろから防災に対する意識と準備が大切です。

### ○地震が発生したら…

家の中では、まず火の始末。元栓も閉めましょう。また、落下物や家具の転倒、ガラスの破片にも注意しましょう。慌てて外へ飛び出さないことも大切です。

☎33-3059 一戸交番



自動車を運転していたら、まず道路左側に車を停車させ、ラジオなどで地震情報を得ましょう。

### ○台風や集中豪雨が接近したら…

強風下での外出は大変危険です。どうしても外出しなければならない場合は細心の注意をしましょう。

非常持出品の用意を日ごろから心掛けることも大切です。

また、テレビやラジオなどで気象情報を確認しましょう。周辺河川などの増水に留意し、場合によっては家財道具を安全なところへ移動させ、いつでも避難できる準備をしましょう。

### ◎平成21年の交通事故発生状況【6月末現在】

	件数	前年数	前年比
人身事故	9件	15件	▲6件
死者	0人	0人	—
傷者	12人	17人	▲5人
物損事故	77件	77件	5件
飲酒運転検挙	0件	1件	▲1件

※6月中の飲酒運転検挙者はありません。

## 古い街並みを生かす町

最近、機会があつて古い伝統的な街並みや建物をたくさん見ることができた。

まず、飛騨の高山市である。ここは幕府の直轄地で代官所があつた所である。その代官所の建物が良く保存されていた。戦災もなかったし、火災からも免れてきたらしい。近くには、明治になってからの役場の建物もちゃんと残っていた。

古いものを大事にし、きちんと残して置く気風が受け継がれている地域だとの気持ち強くした。

ハイライトは、町人町の復元保存であつた。早くからその価値に気付き、住民自らの発案で保存会を作り、その保存や修復に努めてきたという。

もちろん、行政として高山市もその動きに全面協力し、国・県の助力を得て、高率の補助金の制度を利用している。

しかし、あくまでも主人公はその通りの住民なのであつて、先祖から伝承して来たものを絶やしてしまふかとの気迫にあふれているのである。先祖からいただいたその建物は「売らない、貸さない、壊さない」のスローガンで皆が守っているのである。結局これが今、高山市を支える大きな柱となっている。

この伝統的な町並みに加えて、伝統的な祭りを年二回行うし、郷土食なども丁

## 勢町長 稲葉 一戸町長 稲葉

それが壊されず現代建築とならずに集落として残つたのは、雪深い里の暮らし方を長い時間かけて生み出してきた御先祖を敬う気持ちと茅を葺き替える作業を「結（ゆい）」の形で残して助け合ってきた結果であろう。それが世界文化遺産につながっている。

金沢市では、前田家の庭園である兼六園と家老宅の小庭園と花街の町並みを拝見した。いずれも観光客で賑わっていた。一方、金沢市にも高山市にもシャッター商店街はあるという。

何かを暗示しているのは間違いないと感じた。

寧に残している。結果四五〇万人を超す観光客が毎年来るし、その半数近くが宿泊するという。また、ミシュランの三ツ星の観光地として高山市が選ばれた結果、外国人がどんどん増えているらしい。

実際、私が訪れた日は平日であつたが、あちこちに外国人のグループが目につくほどであつた。市の観光協会は誘客のキャンペーンはしないとのことであつた。飽きられることなく、リピートしてもらえる観光を目指すとの話であつた。

お隣の白川村は世界文化遺産となつた合掌造りの集落がある村である。私がびっ

## 小規模新規就農者への支援について

新規就農者の経営安定を図るため、町では一戸町新規就農者支援対策事業として、農業生産のための資材など経費の助成を行ってきましたが、要件を緩和し、小規模新規就農者も対象としました。新規就農を検討している方はご相談ください。

### ■支援内容

機械や資材の購入費など農業生産のための経費の助成（支援期間最大2年間、年間最大10万円）、農業技術に関する指導、その他

### ■小規模新規就農者とは

一戸町内に在住し、新規に就農する方で、小規模な農業経営に取り組もうとするおおむね

65歳以下の方

### ■経営規模

農協または町内産直に年間50万円以上の販売を目指す規模

### ■小規模農家の認定

希望者の申請に基づいて、町が審査のうえ、認定し、支援を行います。

### 【問】産業課

農業振興係  
☎33-2111  
内線255







iはいちのへの  
頭文字です  
携帯ショッピング  
iSHOP

まちの  
お知らせ  
ひろば2

【問】＝問合せ、申込み先

8月
5～23日 <b>コミセンロビー展</b> 文化協会写真部会作品展 9：00～17：00
15日(土) <b>成人式典</b> コミュニティセンター 受付開始 10：30～
17日(月) <b>中里まつり</b> 中里地区 10：00～18：00
27日(木)～ <b>コミセンロビー展</b> 大畑太右エ門・稲葉紘子 祖父と孫の写真展
27日(木) <b>一戸まつり前夜祭</b> 旧一戸病院跡地 19：00～21：00
9月
17日(木) <b>敬老会</b> 町民文化センター 11：00～14：00
26・27日 <b>小鳥谷まつり</b> 小鳥谷地区（26日は夜間運行あり） 12：30～15：00

人の動き（7月1日現在）
人 口 14,868人（－20人）
男 7,168人（－7人）
女 7,700人（－13人）
世帯数 5,813世帯（－9世帯）
（ ）は前月比
転 入 23人（203人）
転 出 21人（315人）
出 生 5人（ 43人）
死 亡 27人（151人）
（ ）は平成21年1月からの累計

★保育施設開放★

鳥海保育所 ☎32-2220

小鳥谷保育所 ☎34-2524

奥中山保育所 ☎35-2319

は8月18日（火）9：30～12：00

一戸子供の家保育園 ☎33-2859

◎「子育てサークルのびのび」は、

平日の月・水・金 9:30～14:30

※場所は、旧総合保健福祉センター

**i ショップホームページ** <http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/>  
※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記の URL からご覧ください

お知らせ

Infomation

「小児救急講演会」のお知らせ

小児を元気に健やかに育てることを目的に標記講演会を開催します。

町民の方どなたでも参加が可能です。

多数の方の参加をお待ちしています。

■期日 8月22日(土)

■時間 14：00～16：00  
(受付13：30～)

■場所 一戸町総合保健福祉センター

■講演内容 「小児の救急について」  
講師 県立一戸病院  
小児科科長 福盛田 修氏

参加をご希望される方は、8月18日までに健康福祉課までお申し込みください。

【問】健康福祉課 保健係 ☎32-3700

### 平成21年度自衛官募集案内

種 目	資 格	受付期間	試験日	参 考
防衛医科大学校	高卒（見込含） 21歳未満	9/7～10/2	10/31・11/1	学生手当 108,300円／月
防衛大学校学生	高卒（見込含） 24歳未満	9/7～10/2	11/7・8	学生手当 108,300円／月
航空学生	高卒（見込含） 21歳未満	8/1～9/11	9/23	俸給 159,500円／月～
看護学生	高卒（見込含） 24歳未満	9/7～10/2	10/24	俸給 159,500円／月～
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	8/1～9/11	9/19	俸給 159,500円／月～
2等陸・男子	18歳以上	下記へお問合せください。		俸給 159,500円／月～
海・空士 女子	27歳未満			

※防衛医科大学校、防衛大学校、航空学生、看護学生は入学金・授業料の納入はありません。

※給与などは平成21年4月1日現在です。

【問】自衛隊岩手地方協力本部二戸地域事務所 ☎23-2529  
ホームページは <http://www.mod.go.jp/pco/iwate/>

### コミュニティ・ジョブセンターが開設しました。

「NPOで就業体験をしたい」、「NPOについて知りたい」、「NPO活動をはじめたい」、「NPOを起業したい」というような方は、ぜひご相談ください。

相談は月曜から金曜（平日9：00～18：00）まで、毎日実施しています。

【問】コミュニティ・ジョブセンター ☎019-653-4211

### 動物ふれあい写真募集

動物が写っていれば、どんな写真でも結構です。四つ切サイズにし、額に入れて、下記まで応募ください。入賞者は9月23日(木)のわんわん運動会で表彰式（豪華商品付）を行います。

■作品展示期間 9月10日～14日

■展示場所 二戸ニコアのホール

【問】グリーン動物病院 ☎23-8257



【水環境課からのお願い】生ごみの水切りに協力お願いします！大量の生ごみの水分を含ませたままのごみ出しはご遠慮願います。台所で水切りを徹底してください！

### 町営住宅入居者募集

町では、町営住宅の入居者を募集します。

#### ①町営大観森第1住宅

- 所在地 一戸町一戸字小井田87番地
- 募集戸数 1戸
- 建物詳細 昭和41年度建設  
木造平屋建 2K 浴槽なし
- 住宅家賃 3,300円～5,200円程度（平成21年度分）

#### ②町営小鳥谷藤島北住宅

- 所在地 一戸町小鳥谷字中屋敷上10番地4
- 募集戸数 1戸
- 建物詳細 平成12年建設  
木造2階長屋建 3LDK
- 住宅家賃 24,400円～36,300円程度（平成21年度分）

#### ■募集期間 8月17日～9月4日

#### ■お問い合わせ及び入居申し込み

地域整備課 建築技術係  
☎33-2111 内線281・282

### 木造住宅耐震診断士派遣事業

町では木造住宅の耐震診断を希望される方に耐震診断士を派遣する事業を行っています。

#### ■対象住宅

昭和56年5月以前に建築された木造住宅で以後改築などを行っていない住宅。

#### ■診断費用 個人負担は3,000円

#### ■応募戸数 5戸

#### ■お問い合わせ及び申し込み

地域整備課 建築技術係  
☎33-2111 内線282

町民割引券について  
奥中山高原ではまちの皆さんが温泉を利用しやすいよう、右の割引券を発行します。

点線で切り取り、入浴時にフロントに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。

朝朱の湯大浴場



### 多重債務者弁護士無料相談

■日時 8月26日(木)・9月9日(木)  
10：00～15：00

#### ■場所 二戸地方振興局1階

消費生活相談室

#### ■対応弁護士 岩手弁護士会所属

【問】二戸地方振興局 ☎23-9201  
※前日までに電話で予約してください。

### 働く人の心とからだの医師による無料相談

■日時 9月10日(木) 13:00～15:00

#### ■場所 二戸市総合福祉センター

【問】二戸・久慈地域産業保健センター ☎23-4466

### 二戸地区無料法律相談

■日時 8月18日(火)、9月1日(火)  
10：00～15：00

#### ■場所 二戸市役所 ※1日10人まで

#### ■予約受付 二戸市 生活環境課

【問】二戸市生活環境課 ☎23-3111  
岩手弁護士会 ☎019-623-5005

### まちの健康相談室からお知らせ

8月19日(木) 骨年齢測定  
10：00～12：00

24日(月) 介護相談  
13：00～15：00


25日(火) 心の悩み事相談  
13：00～17：00

27日(木) 心配事相談  
13：00～16：00

9月 8日(火) 心の悩み事相談  
13：00～17：00

10日(木) 心配事相談  
13：00～16：00

【問】まちの健康相談室 ☎33-4535



奥中山高原温泉

町民割引券

（H21.9.30まで有効）

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴（貸しタオル、ヨーグルトなし）を下記金額でご利用できます。本券1枚につき1人有効。

	◇煌星の湯	◇朝朱の湯
おとな	600→500円	500→400円
こども	300→250円	250→200円

### 戸籍だより（6月届出分）

☆お誕生おめでとう

名	前	保護者	住所
西館	大空 <sup>そら</sup>	和夫	中山軽井沢
大平	優花 <sup>ゆうか</sup>	彰	一戸小井田
大平	彩花 <sup>あやか</sup>	彰	一戸小井田
平井	茜音 <sup>あかね</sup>	孝史	一戸越田橋
山走	唯月 <sup>いづき</sup>	義治	小友下川原目

♡ご結婚おめでとう

（ 泉久保 昭誉 出ル町泉沢  
中村 幸江

（ 遠山 和成 小鳥谷中屋敷  
大平 亜紀子


（ 菊地 雅也 西法寺関屋  
早坂 美奈子

（ 上平 和也 橋山下橋山  
新井 祐美

■ごめい福をお祈りします

森 ヨス	中里袖子田	85
小野寺 正子	一戸向町	96
根反 ミエ	西法寺稲荷	90
大久保 クニ	女鹿上女鹿	102
女鹿口 スエ	小鳥谷女鹿口	99
田村 末次郎	小繫西田子	78
坂本 春夫	中山大畑	48
西館 佐悦	橋山深持	75
南館 ヨシ	中里中里	89
澤村 フミ	一戸大沢	99
猪股 信男	西法寺関屋	71
坂ノ上 昭雄	橋山下橋山	81
谷地 嘉次郎	小鳥谷仁昌寺	80
工藤 良七	一戸砂森	81
小倉 サメ	姉帯名子根	73
大畑 忠五郎	橋山深持	85
土川 由太郎	小友半在家	89
山中 興一郎	岩館沢田	85
東山 キク	西法寺諏訪野	93
中川 トメ	西法寺西法寺	93

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際に戸籍係にお申し出ください。



奥中山高原温泉

町民割引券

（H21.9.30まで有効）

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴（貸しタオル、ヨーグルトなし）を下記金額でご利用できます。本券1枚につき1人有効。

	◇煌星の湯	◇朝朱の湯
おとな	600→500円	500→400円
こども	300→250円	250→200円